

学校教育目標
◎自分で考え 進んで活動する子 ○力を合わせて 高め合う子 ○思いきり体を動かし 元気な子

児童の実態
・素直で活発な児童が多い。 ・市内で比較すると給食の残飯は少ない方だが、野菜の残しは目立つ。 ・エビペン対応の児童が3名おり、十分な配慮が必要である。 ・生活リズムは都に比較して良好であるが、高学年になると夜ふかし傾向の児童や、要支援家庭では、朝食の欠食児童等若干名いる。

根拠
・学習指導要領 ・食育基本法 ・学校給食法 ・食育推進基本計画 ・学校給食法

食に関する指導の重点
①食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。(食事の重要性) ②心身の成長や健康の保持増進の上で、望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。(心身の健康) ③正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。(食品を選択する能力) ④食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝の心をはぐくむ。(感謝の心) ⑤食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。(社会性) ⑥地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。(地域の産物と食文化)

各学年の発達段階に応じた食に関する指導の到達目標		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に興味をもち、食品の名前が分かる。 ・食事のマナーを理解しみんなと楽しく食事をすることができる。 ・3つの食品の仲間を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物には、働きによって3つのグループに分けられることを理解する。 ・食事の重要性を知り、好き嫌いなく食べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の食事に関心をもち、バランスのとれた食事の大切さが分かる。 ・食事を通して豊かな心と好ましい人間関係を育む。

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科等との関連	社会			農家の仕事	ごみはどこへ ゴミの始末と再利用	食料生産を支える人々 これからの食料生産	日本と世界の つながり
	理科			植物の育ち方	生き物の1年	植物の発芽と成長 花から実へ	食べ物の消化と吸収
	生活	きれいにさいてね	おいしくそだて わたしの野さい				
	家庭科					見つめよう！家庭生活 おいしいね毎日の食事	まかせてね！今日の 食事 見直そう食事 と生活のリズム
	体育 (保健分野)			毎日の生活と健康	育ちゆく体と私	心の健康	生活の仕方と 病気の予防
総合的な学習の時間				城山たんけんたい		谷保のコメづくり	くらべてみよう ふるさと谷保
道徳		1主として自分自身に関すること (低) (中) (高) A- (3) 2主として人との関わりに関すること (低) (中) B- (7) (高) B- (8) 3主として集団や社会との関わりに関すること (低) C- (15) (16) (中) C- (16) (17) (高) C- (17) (18) 4主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること (低) D- (17) (18) (中) D- (18) (19) (高) D- (19) (20)					

		低学年	中学年	高学年
特別活動	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や片付けを覚え、楽しく食べよう。 ・手をきれいに洗おう。 ・食前食後の挨拶をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して準備や後片付けをし、楽しく食べよう。 ・身の回りを清潔にしよう。 ・食事のマナーを身に付けよう。 ・話題を選んで楽しく食事をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手際よく準備や後片付けをし、楽しく食べよう。 ・身の回りを清潔に整頓しよう。 ・正しいマナーで食事をしよう。 ・食事にふさわしい環境と話題を考え和やかに食事ができるよう考えよう。
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ終わったら静かに待とう。 ・嫌いなものでも少しずつ食べよう。 ・3つの食品の仲間を知ろう。 ・栄養のバランスを考えて食事をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・食後の休養について考えよう。 ・栄養を考えて食べよう。 ・3つの食品群を考えながら食事をしてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食後の休養について考えよう。 ・栄養のバランスを考えて食べよう。 ・健康な体づくりを考え自分にあつた食事をしよう。
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・仲良く食事ができたかを考えよう。 ・給食に携わる人に感謝の気持ちを表そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して楽しく食事ができたかを考えよう。 ・給食に携わる人に感謝の気持ちを表そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事への関心が深まり、楽しく食事ができたかを考えよう。 ・給食に携わる人に感謝の気持ちを表そう。
保護者・地域との連携		給食だよりの発行、給食試食会、学校公開日に行う食に関する授業及び指導、学校保健給食委員会 食物アレルギーに対する対応は、保護者、給食センターと連携して対応することとする。		

